

製品名: コロニン 1A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09256**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	CORO1A
別名	CORO1A; CORO1; Coronin-1A; Coronin-like protein A; Clipin-A; Coronin-like protein p57; Tryptophan aspartate-containing coat protein; TACO
遺伝子 ID	11151.0
SwissProt ID	P31146
免疫原	コロニン 1A 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 150-230

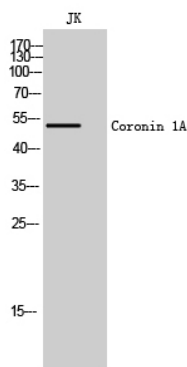
背景

この遺伝子は、WD リピートタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。WD リピートは、通常グリシン-ヒスチジン

(gly-his) とトリプトファン (trp-asp) で囲まれた約 40 アミノ酸からなる最小限保存された領域 (GH-WD) であり、ヘテロ三量体または多タンパク質複合体の形成を促進する可能性があります。このファミリーのメンバーは、細胞周期の進行、シグナル伝達、アポトーシス、遺伝子制御など、様々な細胞プロセスに関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子が 16 番染色体上に定義されています。[RefSeq 提供、2010 年 9 月]、機能: 高度に運動性の高い細胞の細胞骨格の重要な構成要素である可能性があり、細胞膜の大きな断片の陥入と、細胞運動に関与する細胞膜の突起形成の両方に機能します。マイコバクテリア感染細胞では、ファゴソーム膜上に保持され、ファゴソームとリソソームの融合を阻害する。、類似性: WD リピートコロニンファミリーに属する。、類似性: 5 つの WD リピートを含む。、細胞内局在: 非感染マクロファージでは、皮質微小管ネットワークに結合している。マイコバクテリア感染マクロファージでは、徐々に再局在化し、マイコバクテリアのファゴソーム周辺に保持される。ファゴソーム膜への保持は、マイコバクテリアの生存能力に厳密に依存しており、酸性化障害によるものではない。、サブユニット: アクチンに結合する。、組織特異性: 脳、胸腺、脾臓、骨髄、リンパ節で発現する。肺と腸では発現が低い。、

研究分野

画像データ



Coronin 1A ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析